



# 4-Mail

4-Met Center Newsletter

Meta-technology Center for  
Metropolitan  
Metamorphosis  
Methods

東京都立大学 4-Met センター  
<http://www.4-met.org/>

Vol.005 Date:050316

広報担当者： 吉川 徹 助教授  
倉斗 綾子 研究員  
森田 真司 研究員 (RA)

## 4-Met センターからお知らせ (プロジェクト担当の皆様へ)

### (1) 平成 16 年度成果報告会の準備

「平成 16 年度成果報告会」が 4 月 28 日(木)に行われます。メーリングリストなどで予稿集の様式等を既にお知らせしておりますが、ご確認の上、ご協力をお願いいたします。尚、予稿集の締め切りは 4 月 5 日(火)となっておりますので、所定の様式に併せ、学科事務室のポストにご提出下さい。ご不明の点がございましたら、各プロジェクト担当支援員または、成果報告会担当の三田村支援員までお問い合わせ下さい。

### (2) 4-Met センターパンフレットの更新

新大学設立に関連し、4-Met センターのミニパンフレット (A4 三つ折り) を改訂いたしました。改訂版は 4-Met センターにございます。また、A4 版のパンフレットに関しましては、大学名の修正作業を順次進めておりますので、ご入り用の際はお手数ですが 4-Met センター竹本もしくは、倉斗までご連絡下さい。

### (3) 平成 17 年度 COE 研究予算決定

平成 17 年度の研究予算の総額が決定しました。

## COE 運営会議議事報告 (3月7日開催)

### (1) プロジェクト進捗状況報告

A プロジェクト (報告担当者：阿部研究員)

A111：団地型集合住宅のトータルリモデル [深尾教授]

2/25 に東京都住宅供給公社のストック活用検討部会に参加し、A111 で開発した階段室型エレベータのプレゼンテーション。公社に法的・技術的課題等を検討していただき、それを受けて、今後さらに設計開発を進める予定。また、この成果を博士課程小川君が SB05 に投稿。

A112：集合住宅ストック把握・大規模改修事例集作成 [門脇助手]

2005 年内の事例集出版に向けて作業中。九州における実態調査にて、熊本県宮保田窪第一団地 (山本理顕設計) に、片廊下とエレベータが最近増築されたことが判明。

A113：公共集合住宅戸別改善リモデル実施実験 [門脇助手]

特に戸別改修の施工調査に関する成果を、修士荒平君が来年度の大会オーガナイズドセッション (建築計画部門・ストック活用) に投稿。

A12：持続的高齢者居住からみた多摩ニュータウン集合住宅の再整備要件に関する研究 [上野教授]

計画系論文集 (加藤君)、大会梗概準備中。

A13：公的賃貸住宅の建替え等に関する概況 [松本助手]

技術報告集採用決定。

A14：団地型集合住宅の構造性能評価 [中村助手]

壁付き柱に関する実験結果を考察し、大会梗概準備中。

A15：団地型集合住宅の外観美観の改善手法 [橘高教授]

博士課程の松山君が 2/14 に博士論文公聴会を無事終了。

A16：構造躯体の劣化修復技術とその構成材料の再資源化技術・設計戦略 [田村助手]

修士課程の新井君が新しい実験を計画中。3 月に予備実験が終了予定。

A21：建物改修時の耐震補強技術に関する調査・研究 [北山助教授]  
中間報告に向け、既存ストックの耐震改修工法・実施例についての検討を継続中。

A41：ベトナム・ハノイの近代集合住宅リモデル [山田助教授]  
・博士課程ハー君が、2/14 公聴会を行った。年度末に博士課程修了予定。

・ベトナム側に収集を委託していた資料 (15 冊に製本されたもの) のとりまとめ中。建築学会大会への投稿を検討中。

B プロジェクト (報告担当者：首藤研究員)

B11：神田地区における総合 GIS の開発と空間構造分析 [高見澤教授・饗庭助手]

・水島君の修士論文をもとに神田の居住回復と集合住宅に関する論文を水島 + 饗庭 + 関 (都市まち研) + 高見沢を著者として 2 月 10 日付で「東京都心部の既成市街地における居住回復の進展と集合住宅立地の影響 - 千代田区神田地域を対象として」を日本建築学会論文報告集に投稿した。

・宮本君の修士論文を基に「THE CASE STUDY OF THE SUSTAINABLE FUTURE IMAGES OF HIGH-DENSITY CENTRAL AREA OF TOKYO」を饗庭 + 宮本 + 小迫 + 高見沢を著者として SB05 に 3 月 1 日提出した。

・3 月に追加データとして、地域の不動産屋からビルの図面の収集、街並み景観の定点観測撮影 (パノラマ VR を使う) を行う予定である。

・小林研究室卒論生秋山君を中心に、多大学にわたる卒業設計展示会 (神田夢祭) の企画が進行中。3/14-20 に開催の予定。読売新聞から取材がある。NHK も興味を示している模様。

・コメント神田館近所の Y ビルオーナー (町会副会長) から話があり、ビルの改装について提案を出すことになる。西田助手中心で対応する予定。

・日経新聞から取材を受けた。

・建築学会コンペの落選作品は、第一次選考 (97 → 37) には残っていたようで、3/14 からの建築会館で展示され、また、建築雑誌 6 月号にも掲載される予定。

B116：都心部における既存建築ストックの高齢者福祉・生活支援施設への転換に関する検討 [竹宮助教授]

卒論生篠田君の本論修正が終わり次第、千代田区高齢者センターに再度、報告に伺う予定。そこで、次年度の研究計画について話し合う予定である。

尚、千代田区は高齢者センターの建て替え計画を進めている。次年度に、基本構想を作成する予定である。新築を検討しているようだが、既存ストックを活用した方策も検討していたできるように働きかけたいと考えている。

B21：コンバージョン建築の総合的検討とケーススタディ [小林教授・木下助手]

小林研究室+三田村研究員が中心となって、T社と打合せを随時行いつつ、新宿にあるSビルのリノベーションの計画を作成中。昨年末からの検討がまとまりつつある状況となってきたので、2月15日にSビルのオーナーへ対するリノベーション計画のプレゼンテーションを行い、多くの部分に関して強い関心と共感を得ることができた。また、その場でオーナー側（ビル会社）としてのSビルに対する考え方、また築年数の経ったビル一般に対する考え方などについて幅広く意見交換をした。加えてこれまでの調査では分からなかったSビルの設計者に関する貴重な情報、設計の経緯、またビルの現状についても詳しく伺うことができた。現在はこれらを踏まえて、よりオーナーの要求に沿う形の提案、そして当初の設計者の意図を汲み取って活かした形の提案へとブラッシュアップするという段階にある。3月中旬にオーナー、T社とB21プロジェクトメンバーで小打合せを行い、その後の進め方について話し合う予定となっている。

**B22: 既存建築ストックの制振手法の検討** [山崎教授・見波助手]  
振れ振動の振動台実験に関して3月4日開催の関東支部研究報告会にて「連結制振構造に関する研究」と題した研究論文の発表を行った。制振装置(ダンパー)の実験については現在準備中である。

**B24: コンバージョンにおけるベースビルディングの評価手法** [角田助教授]

門脇助手は今年度の成果を、SB05に投稿した。角田助教授は、研究室で今年度の成果を設計提案としてまとめた。併せて、論文発表の準備を進めている。

**Cプロジェクト(報告担当者:倉斗研究員)**

**C1: 多摩地域公共施設** [吉川助教授・角田助教授・竹宮助教授]

本年度の各チームの成果(修論生有元君、松生君、横田君の修士論文、及び修士謝君の研究活動)を2月24日に多摩市へ報告した。各自10分ほどのプレゼンテーションを行い、多摩市からご意見をいただいた。特にコミュニティーセンターに着目していたこともあり、市民活動推進課の方々からは興味深いご意見をいただいた。また企画調整課より、今後各視点からの分析結果をどのような形で取りまとめるのか、等の質問もいただいた。

**C21: 公立学校施設再生** [上野教授・角田助教授・北山助教授]

・横浜市M区内小学校統廃合:現在、新規メンバーと共に最終提案図面作成中。ランドスケープデザイン(卒論生坂本君、学部生樋沼さん)、立面リニューアルデザイン(卒論生岡村君、篠田君)、施設内容の提案(学部生藤澤君、倉斗研究員)、構造的検討など多角的に検討を進めている。3月9日に中間報告として、現在C21チームで進めている計画案を区に対してプレゼンテーションする予定。区からの意見を受けて最終提案を年度内を目標にまとめる。

・多摩市HGN小学校廃校舎活用計画:大学院建築計画の授業で提出された活用計画案より3案を抜粋。現在各案に関して構造的検討、構法的視点からのコメントをいただき、修正案を作成中。これまでの市や地域分析を含めて現在、最終提案の報告書を作成中。修正案3案を取りまとめ次第、市へプレゼンテーションする予定。

**Dプロジェクト(報告担当者:三田村研究員)**

**D11 自然利用住宅** [須永助教授]

SB05に、D112で2編(COEクレジット入り)、D11の関連

研究で1編(クレジットなし)を投稿。

**D21 戸建て住宅の熱性能評価** [永田助教授]

E51に関連した実験は終了し、面状発熱体を用いた断熱性能試験準備中。

**D311 ガラス建築環境の最適化** [石野教授]

港区中学校の屋上芝生植栽システムを対象にして長期実測を行い、地上に植生する植物とは熱特性や水収支特性が異なること、芝生の枯れに伴う蒸散特性の変化、メンテナンスや灌水条件の影響を受けることなどが判明し、シミュレーションによってもヒートアイランド抑制効果を検討した。また緑化の比較対象としてクールーフと呼ばれる高反射塗料、人工芝、断熱材等との比較も行った。港区中学校の屋上芝生植栽の長期実測を2月中旬に終了し、測定機器の撤収を行った。3月に実施予定の報告会に向けて報告書の作成を行っている。

**Eプロジェクト(報告担当者:三田村研究員)**

**E51: 木造戸建て住宅活用法・設計** [小泉助教授]

断熱改修:2/8に永田研学部生宿谷君により、当プロジェクトに関する卒業論文が発表された。構造補強:2/8に藤田研究室学部生高橋君により、当プロジェクトに関する卒業論文が発表された。

コンペ受賞:兵庫住宅耐震改修コンペにおいて、理事長賞を受賞(県知事賞・センター賞に次ぐ3位にあたる成績)。4-Metセンター入口書棚上に賞状と楯を展示中。

薬王寺現場:木造補強工事進行中。

**E51: 昭島市のRC造住宅改修計画** [小泉助教授]

「(仮称)静岡市M邸改修工事»:2/21に小泉先生・梅田COEスタッフが、施主と現地にて打合せを行った。その結果基本設計の依頼を受け、近日中にプレゼンテーションする予定。

**E71: 伊豆に立地する中廊下型の宿泊施設を住居の離れとする用途転用計画** [西田助手]

現在、3社から工事の見積もり待ちの状況。3/10が見積もり期限のため、その後速やかに契約し、3月末に解体工事の着工となる。7月中に竣工の予定。改修前と改修後の温熱環境の測定を行い、窓と床の断熱改修の有効性を確認するべく、準備を進めている。

## (2) お知らせ

①昨年11月に行われた国際ワークショップの講演内容を、阿部支援員、首藤支援員を中心に記念誌として作成中。来年度成果報告会で一部配布予定。また後日、Web上でもpdfとして閲覧可能とする予定。

②新プロジェクトF:都市建築空間・調和工学研究会が発足。3月19日(土)15時半～、南一誠氏(日本郵政公社)を招いて第一回目勉強会を実施。

③神田・日本橋を舞台にした卒業設計展「神田・日本橋夢祭2005」が3月14～20日に開催される。当COE神田拠点、Comet神田館も後援。

④9月に行われる国際学会SB05(9月27～29)と同時期に海外から数名のパネリストを招いて、4-Metセンター主催の小規模国際ワークショップを開催する予定。

⑤4-MetセンターのCIB連絡担当者を首藤支援員とする。

⑥成果報告会のプログラム決定(詳細はポスター、Webを参照)。

(文責:倉斗)